

第1回臨時会

2月10日に平成18年第1回臨時会が招集され、1日の会期で開かれました。ここでは、「工事請負契約の変更契約」について、提出された3議案を慎重に審議し、すべて原案のとおり可決しました。

中央台〜山ノ神線 道路新設（3工区）工事

岩盤線が当初計画時よりも下方に位置していたことから現場内で発生する土量が減少したため、現場外から土を採取する契約を変更しました。

〔変更契約の金額〕
1億25万円（50万円増）

〔契約の相手方〕

堀江・西本特定建設工事共同企業体

中央台〜山ノ神線 道路新設（4工区）工事

岩盤線が当初計画時よりも下方に位置していたことから現場内で発生する土量が減少し、当初3工区へ流用する予定だった土砂を流

用できなくなったため、契約を変更しました。

〔変更契約の金額〕

1億192万円（△832万円）

〔契約の相手方〕

田中・五社山特定建設工事共同企業体

二ツ沼総合公園整備工事 （その2）の宿泊棟改修工事

当該建物が築40年近く経過しているため、外壁の一部が劣化著しいことから、補強補修工事を実施するため、契約を変更しました。

〔変更契約の金額〕

1億582万円（292万円増）

〔契約の相手方〕

横山・五社山特定建設工事共同企業体

委員会報告

平成18年第4回定例会において、各委員会委員長より第4回定例会（平成17年12月）以降の所管事務調査について報告がありました。

議会運営委員会

開催日 平成18年1月13日
3月8日

- 委員長 猪狩 新一郎
- 副委員長 松本 浩司
- 委員 中津 伸一
- 委員 塩田 史子
- 委員 渡邊 正俊

平成18年度議会費予算（案）の審議ならびに平成18年第1回定例会の日程および提出予定議案等の内容を審議しました。

具体的な地域振興策を要望

総務常任委員会

開催日	平成18年2月6日
委員長	司 範一郎
副委員長	浩 正伸
委員	本 木 津 狩 本
委員	松 鈴 中 猪 坂

調査の結果

(1) 相双地域観光拠点整備事業

現在、二ツ沼総合公園で実施されている5件の工事について、進捗状況の説明があった。予定どおり完成する見通しである。

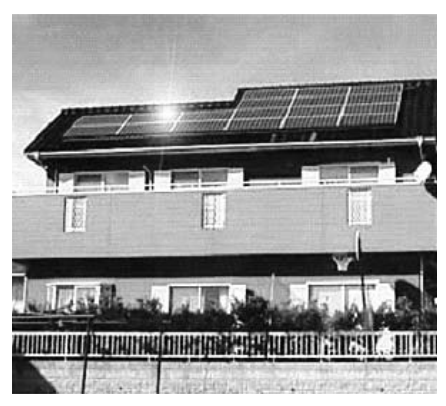
ただし、二ツ沼総合公園整備工事のうち宿泊施設工事については、昭和44年に福島県が伝習農場の女子寮として建設したもので、築40年近く経過していることから、梁鉄骨の老朽化による劣化が著しいため、補修工事が発生した

追跡人跡

あの質問 どうなった？

議員の質問・提言に答える町執行部、その答弁がその後どうなったのか？ どう町政に反映させているのか、対応を追跡しました。

新エネルギーシステムを導入する個人に対し、町として「補助制度」を導入すべし



3.24キロワットシステム施工例

平成17年6月議会（一般質問）

質問の概要

地球温暖化防止の観点から、自然エネルギーを有効に活用する必要がある。太陽光発電システム等の普及促進をはかる上でも同システムを導入する個人を対象に「補助制度」を設け、補助金を交付すべきと考える。

地域一体で取り組みたい

〔答弁〕 新エネルギーシステムの導入にあたっては、「広野町地域新エネルギービジョン」の方針に基づき、地域一体となった取り組みを進めていきたい。

設置者に最大で12万円補助

〔結果〕 平成18年4月1日から、町内の住宅に太陽光発電システムを設置する方に対し、申請により3万円（出力1キロワット）から最大で12万円（出力4キロワット）の補助金を交付します。

また、太陽熱利用システムを設置する方には、(財)新エネルギー財団による補助金もあります。

(2) 第二次広野町町勢振興計画の経過と展望

振興計画見直しにあたっての基本方針と今後の進め方について説明を受け、見直し業務が遅れている旨の説明があった。「ひろの創造プラン21」の6つの重点目標を基本に策定当時の社会経済情勢の変化を検討するとともに、これらの変化に対応する実現可能な見直しをすべきである。特に少子高齢化がもたらす社会環境変化に注目すべきと提言した。



パークゴルフを楽しむ子供たち